

報道関係者各位

2026年9月30日 株式会社Kairion

患者さんとの会話が、そのままカルテ記録に。院内完結型AIスクライブ 「Kairion Scribe for medicine」発売

～看護師・薬剤師・医療事務まで、職種を問わず。院内スマホとワイヤレスマイクで両手はフリー、会話は一文字も院外に出ない～

株式会社Kairion(本社:愛知県犬山市、代表取締役:洪 繁)は、患者さんとの会話からカルテ記録の下書きを自動で作成するAIスクライブ「Kairion Scribe for medicine(カイリオン スクライブ フォー メディシン)」を、2026年9月30日に発売します。

看護師、薬剤師、医療事務、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、管理栄養士、そして医師まで。患者さんと話すすべての医療従事者が、胸ポケットの院内スマホと襟元のワイヤレスマイクだけで、ベッドサイドや廊下での会話をそのまま記録に残せます。音声認識から要約までの処理はすべて院内に置いたAIワークステーションで完結し、インターネットなど院外のネットワークには一切接続しない閉域環境で稼働します。録音した音声は文字起こしが終わり次第、直ちに削除されるので残りません。AIが作成した下書きは、医療従事者が『修正・承認』ののち、いまお使いの電子カルテへ手作業でコピーして貼り付けられます。

ご利用の流れ: 録音 → 文字起こし(AI)・下書き作成(AI) → 医師・看護師などの医療従事者による修正・承認 → 電子カルテへ転記

(※AIが作成するのは診療記録の下書きです。正式な全ての診療記録は医師・看護師などの専門職による修正・確認・電子カルテへの貼り付け作業が必須です。)

開発の背景

医療現場では、診療やケアの合間に、診療記録の作成に多くの時間が使われています。病棟の看護師は、訪室で聞いたことや観察したことをナースステーションに戻ってから思い出しながら入力し、忙しい勤務時間内や勤務時間外にも看護記録作成のための時間が重くのしかかります。医師の働き方改革(2024年4月から時間外労働の上限規制を適用)が進むなか、診療記録業務の効率化は医師だけでなく、医療業界全体の課題です。

一方で、診療やケアの会話は、患者さんの機微情報が多く含まれます。音声をクラウドに送ってAIで文字起こし・要約を作成するサービスは増えていますが、患者さんの機微情報は院内だけで扱いたい(3省2ガイドラインに完全に準拠したい)、という医療機関のニーズには応えられていませんでした。

Kairion Scribe for medicine は、この2つの課題を同時に解決するために開発しました。記録の手間を減らしながら、会話は院内から一文字も出ることはありません(インターネットに接続しない閉域環境)。

院内スマホは胸ポケットに
録音を始めたら、スマホはポケットへ。画面を見る必要はありません。

ワイヤレスマイクを襟に
小さなクリップ式のマイクが、患者さんとの会話を聞き取ります。

いつもどおり話すだけ
観察も説明も、声に出して伝えるだけ。両手はケアや処置に使えます。

記録の下書きができあがる
院内のAIが文字に起こし、記録の形に整えます。確認して、電子カルテへ。

録音した音声は残りません。 文字起こしのために録音された音声は、文字起こしが終わり次第、直ちに削除されます。AIサーバー内部にも、電子カルテのPC端末にも、スマホ端末にも、一切残りません。

・製品の特長

1. 両手は患者さんのために — 院内専用スマホとワイヤレスマイクで記録

録音を始めたら、スマホは胸ポケットへ。襟元の小さなワイヤレスマイクが会話を聞き取ります。訪室や回診、処置の最中でも画面を見る必要はなく、キーボードの前に戻らずに記録が進みます。AIによる診療記録の下書きは、スマホやパソコンの画面でそのまま行えます。医師や看護師による修正・承認ののち、手作業で電子カルテに転記します。

2. 職種を問わず、それぞれの記録の形に

入院時・入院中・退院時を問わずすべての看護記録・毎日の申し送りノート、服薬指導記録、栄養指導記録、リハビリ実施記録、手術記録、説明・同意(IC)の記録、議事録など、職種や場面に合わせたテンプレートで下書きを整えます。自院の書き方に合わせたテンプレートも、AIテンプレートエディターと相談しながら作れます。医師の診療録(SOAP)にももちろん対応します。

3. 電子カルテの画面を貼るだけで過去の診療記録のサマリー作成も

電子カルテの画面を PrintScreen で撮って貼り付けるだけで、退院サマリーや経過要約、看護サマリー、紹介・転院用の要約をAIが下書きします。電子カルテを置き換えるのではなく、いまお使いの電子カルテと一緒に使って記録業務の効率を上げます。AIによる診療記録の下書きは、医師・看護師などの専門職による修正・承認を経て、手作業で電子カルテに貼り付けられます。

4. 会話は一文字も院外に出ない — インターネットに接続しない閉域環境で稼働

AIによる音声認識、要約、診療記録作成支援は、すべて院内のAIワークステーション内部のみで処理し、インターネットなど院外のネットワークには接続しません。院内LANの中だけで通信する、セキュアな閉域環境で稼働します。文字起こしのために録音した音声は、文字起こしが終わり次第、直ちに削除され、Kairion AI workstation内部にも電子カルテのPC端末にも院内スマホにも残りません。職種ごとの権限管理と、患者情報の閲覧・変更の監査ログも備えます。

5. 記録が集まるほど、AIが支えに — SATORU MODE

患者さんのカルテ記録・問題リスト・処方をもとに、AIが症例サマリや、鑑別・検査・治療の参考情報を示す、医師向けの医療情報支援機能「SATORU MODE」を搭載しています。

AIが作成するのはあくまで下書きです。AI下書きには確認の印が付き、記録した本人が内容を修正し、承認してから確定します。

・想定する活用シーン

患者さんとの会話や院内の情報共有など、次のような場面での活用を想定しています。

場面	使う人	できる記録(下書き)
病棟の訪室・検温・処置	看護師	看護記録、経過記録、申し送り、入院看護計画書、退院支援計画書
病棟回診(廊下での立ち話)	医師・看護師	回診記録
外来診療	医師	外来カルテ(診療録・SOAP形式)、紹介状の下書き
救急外来・集中治療室	医師・看護師	救急外来記録、看護記録、入院カルテ
手術室	執刀医・手術室看護師	手術記録、術中看護記録
内視鏡検査・検査室	医師・臨床検査技師・診療放射線技師	検査記録
服薬指導・栄養指導・リハビリ	薬剤師・管理栄養士・理学療法士	服薬指導記録、栄養指導記録、リハビリ実施記録

場面	使う人	できる記録(下書き)
受付・医療事務	医療事務員	受付・問い合わせの記録
検査前・手術前の説明(IC)	医師・看護師	説明・同意(IC)の記録
症例検討会・院内委員会	多職種	議事録

・トライアル導入先の声

診療記録を書くことには、医師だけでなく、医療に携わる多くのスタッフが大変な時間を費やしています。*Kairion Scribe*を導入すると、診療記録に費やす時間が削減できると期待しています。近年の生成AIの発達で、いつかはこうした時代が来ると想像していましたが、こんなに早く手元に届くとは思ってもみませんでした。

ー ナゴヤガーデンクリニック(名古屋市西区)院長 若林 俊彦 先生

・提供形態・動作環境

AIの処理は、NVIDIA GB10 Grace Blackwell Superchip を搭載した卓上サイズのAIワークステーション「KAIRION AI WORKSTATION」が担います。NVIDIA DGX Spark などの GB10 搭載機をプラットフォームとし、約15cm角の本体は、サーバー室のラックの横にも事務室の机にも置けます。

項目	内容
AIワークステーション	NVIDIA DGX Spark ほか GB10 搭載機(128GB 統合メモリ)
利用端末	院内電子カルテLANにつながった専用スマホ・タブレット・パソコンのブラウザ
ハンズフリー利用	院内専用スマホ+クリップ式ワイヤレスマイク
ネットワーク	院内電子カルテLAN内でのみ通信。インターネット等の外部ネットワークには接続しません(閉域環境で稼働)
電子カルテとの連携	下書きを修正・承認して記載欄へ貼り付け(電子カルテの機種は問いません)
セキュリティ	データ領域の暗号化、職種ごとの権限、監査ログ

・今後の展開

記録が集まるほど医療現場を支えられるよう、次の機能を開発しています。

- 患者記録の検索データベース(開発中): 患者さんの過去の医療記録から、AIが必要な情報を探し出します。
- AIレセプト点検(開発中): カルテ記録と請求内容をAIが照らし合わせ、記載漏れや算定の確認点を事前に知らせます。

提供時期は決まり次第お知らせします。

・製品概要

項目	内容
製品名	Kairion Scribe for medicine (カイリオン スクライブ フォー メディシン)
発売日	2026年9月30日
対象	病院・診療所などの医療機関
提供形態	AIアプリケーション (AI workstation 込)
価格	お問い合わせください。
製品サイト	https://kairion.jp

・協力企業

Kairion Scribe for medicine の開発には、合同会社フィクスが協力しています。

AIワークステーションのハードウェア調達は、アプライド株式会社が協力しています。

顧客サポートについては、株式会社テクニカルエージェントがKairionのサポートパートナーとして、コールセンター対応から技術相談、運用支援までを担います。

物流・保管・機器キitting業務については、ロジスティード中部株式会社が担当します。医療機関への導入から運用までを、全国ネットワークで支える体制を整えています。

役割	企業(本社・代表者)	会社紹介
開発協力	合同会社フィクシス (本社:愛知県名古屋市、代表:村瀬敏彦)	AI駆動開発、AI導入支援・コンサルティング、システム開発・運用保守、クラウド環境構築・運用を手がけるITコンサルティング企業(2025年設立)。
顧客サポート	株式会社テクニカルエージェント (本社:愛知県名古屋市、代表取締役:渡邊 良之)	名古屋・東京・大阪・福岡に拠点を持つITエンジニアリング企業。本製品では医療機関向けの導入支援および顧客サポートを担当。チケット制IT支援サービスを通じて、情報システム担当者の業務支援、障害対応、システム活用支援を提供し、医療機関の安定運用とDX推進を支援する(2013年設立)。
ハードウェア調達	アプライド株式会社 (本社:福岡県福岡市、代表取締役会長兼社長:岡 義治)	パソコン・周辺機器の販売、プライベートブランド製品の開発・製造、ITトータルソリューションを展開(1982年設立)。
物流・保管・機器キitting支援	ロジスティード中部株式会社 (本社:愛知県名古屋市)	ロジスティードグループで中部地区の物流現場を担い、輸送・保管・包装・搬入据付などの物流サービスを提供(1986年創業)。

・会社概要

項目	内容
会社名	株式会社Kairion (Kairion Inc.)
代表者	代表取締役 洪 繁
所在地	愛知県犬山市
事業内容	医療・ウェルネス分野におけるAI・情報技術を活用したソフトウェアの企画・開発および関連サービス
スローガン	医療とテクノロジーの、より良い未来へ。 ／Clinical Intelligence at the Right Moment.
URL	https://kairion.jp

・本件に関するお問い合わせ

株式会社Kairion : contact@kairion.jp

・デモ機貸し出しについて

Kairion Scribe for medicineを一か月間無料でお試しいただけるデモ機を多数準備しております。デモ機の貸し出しについては、上記contact@kairion.jpまでお気軽にお問合せください。

※ NVIDIA、DGX Spark、Grace Blackwell は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。

※ 記載の会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 「開発中」と記載した機能は開発段階のもので、仕様は変更になることがあります。

※ AIが作成するのは記録の下書きです。診療記録の作成には、医療従事者による修正・承認・手作業による貼り付け作業が必要です。

※ Kairion Scribe for medicineは、以下特許出願済みのAI技術を元にしてしています。

特願2026-137156, 特願2026-137157, 特願2026-137158, 特願2026-196890, 特願2026-196891, 特願2026-196892, 特願2026-196893, 特願2026-196894, 特願2026-196896, 特願2026-196897, 特願2026-196917, 特願2026-205234, 特願2026-205235, 特願2026-209762, 特願2026-209763, 特願2026-209764, 特願2026-209765, 特願2026-209766, 特願2026-209767, 特願2026-212684, 特願2026-212685, 特願2026-212686, 特願2026-212687, 特願2026-212689, 特願2026-212690, 特願2026-212698, 特願2026-212699, 特願2026-212701, 特願2026-212702, 特願2026-212703